

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月21・23日と5月1日に本校3年生が実施した全国学力・学習状況調査になります。今年度は「国語、数学、英語」と「生活習慣や学習環境等に関する質問調査」を実施しました。本校における結果分析のまとめを作成しましたのでご報告いたします。

比較に当たっては、全国平均正答率と本校の正答率を比較して表現しています。

- ・「上回っている」（+3.1ポイント以上）
- ・「ほぼ同程度であるが、やや上回る」（+3.0ポイントの範囲内で全国平均をやや上回る）
- ・「ほぼ同程度」（全国平均と同じ）
- ・「ほぼ同程度であるが、やや下回る」（-3.0ポイントの範囲内で全国平均をやや下回る）
- ・「下回っている」（-3.1ポイント以下）

【中学校国語】

本校の概要	課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□「言葉の特徴や使い方に関する事項」</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均を下回っている <p>□「話すこと・聞くこと」</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均を下回っている <p>□「書くこと」</p> <ul style="list-style-type: none">・ほぼ同程度であるが、やや上回る <p>□「読むこと」</p> <ul style="list-style-type: none">・ほぼ同程度であるが、やや下回る	<p>□「言葉の特徴や使い方に関する事項」</p> <ul style="list-style-type: none">●文脈に即して正しい漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。 <p>□「話すこと・聞くこと」</p> <ul style="list-style-type: none">●他者の発言と結び付けながら、話合いの話題や展開を捉えること。 <p>□「書くこと」</p> <ul style="list-style-type: none">●段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫して書くこと。 <p>□「読むこと」</p> <ul style="list-style-type: none">●文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えること。	<p>○普段から正しい漢字を書く指導とともに、文章の中で使えるような活動の工夫。</p> <p>○話合い活動に当たって、話題、展開、結び付きを整理できるような工夫を通して、話の内容を捉える活動の充実。</p> <p>○書く場面を意識的に設定し、文章の展開に目を向けるような授業の工夫。</p> <p>○文章を正しく読み取り、整理したものを基に考えられるような授業の工夫。</p>

比較に当たっては、全国平均正答率と本校の正答率を比較して表現しています。

- ・「上回っている」(+3.1ポイント以上)
- ・「ほぼ同程度であるが、やや上回る」(+3.0ポイントの範囲内で全国平均をやや上回る)
- ・「ほぼ同程度」(全国平均と同じ)
- ・「ほぼ同程度であるが、やや下回る」(-3.0ポイントの範囲内で全国平均をやや下回る)
- ・「下回っている」(-3.1ポイント以下)

【中学校数学】

本校の概要	課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□「数と式」</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る <p>□「図形」</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均を下回っている。 <p>□「関数」</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均を下回っている。 <p>□「データの活用」</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均を下回っている	<p>□「数と式」</p> <ul style="list-style-type: none">●予想が成り立つことを式に表したり、事柄の特長を数学的な表現を用いて説明すること。 <p>□「図形」</p> <ul style="list-style-type: none">●筋道を立てて考え、証明すること。●証明する事柄の仮定を見いだすこと。 <p>□「関数」</p> <ul style="list-style-type: none">●反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、xの値に対応するyの値を求めること。 <p>□「データの活用」</p> <ul style="list-style-type: none">●累積度数の意味を理解すること。	<p>○表現したり説明したりする場面を授業の中に意図的に設け、日常的に取り組む学習活動の充実。</p> <p>○無回答率が高いことから、証明や説明をする問題に苦手意識が見られる。証明の書き方などの丁寧な指導の充実。</p> <p>○基礎・基本の問題演習の充実。比例や反比例の表や式、グラフを関連付けて、様々な見方で考察する活動の充実。</p> <p>○異なるデータを比較するために累積度数を用いるなど、データの傾向を的確に捉えるための繰り返し練習の充実。</p>

比較に当たっては、全国平均正答率と本校の正答率を比較して表現しています。

- ・「上回っている」(+3.1ポイント以上)
- ・「ほぼ同程度であるが、やや上回る」(+3.0ポイントの範囲内で全国平均をやや上回る)
- ・「ほぼ同程度」(全国平均と同じ)
- ・「ほぼ同程度であるが、やや下回る」(-3.0ポイントの範囲内で全国平均をやや下回る)
- ・「下回っている」(-3.1ポイント以下)

【中学校英語】

本校の概要	課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。 <p>□読むこと</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均を下回っている。 <p>□書くこと</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均を下回っている。 <p>□話すこと</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均を下回っている。	<p>□聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none">●日常的・社会的な話題について話を聞き、その概要や要点を捉えること。 <p>□読むこと</p> <ul style="list-style-type: none">●日常的・社会的な話題について話を読み、目的に応じて、必要な情報を読み取り、またその概要や要点を捉えること。 <p>□書くこと</p> <ul style="list-style-type: none">●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと。 <p>□話すこと</p> <ul style="list-style-type: none">●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すこと。	<p>○日常的・社会的な話題について、話し手の主張などをペアやグループで話し合う際に、考えや意図を伝える表現などに着目することで、文章の構成を理解する活動の充実。</p> <p>○英文を読んだ後、場面の移り変わりに着目し、登場人物の視点や感情の変化などを整理しながらペアやグループで物語の概要を話したり、書いたりする学習活動の充実。</p> <p>○「導入⇒本論⇒結論」や「主張⇒根拠や具体例⇒主題の言い換えや要約」など、文章構成の特徴を意識しながら、一貫性のある内容を書く学習活動の充実。</p> <p>○関心のある事柄について簡単な「話すこと（発表）」のペアやグループによる練習を通して、相手が使っていた表現も参考にしながら、徐々に話す内容を増やし、まとまりのある内容を話す力を高める学習活動の充実。</p>

生活習慣や学習環境等に関する質問調査について

◎肯定的な回答の割合が特に高かった項目(当てはまる+どちらかといえば当てはまるの合計)

- ・朝食を毎日食べていますか。
- ・先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか。
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・友達関係に満足していますか。※全国平均よりかなり高い
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
- ・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。
- ・あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。



肯定的な回答が高い項目から見える特徴

(1)生活習慣や人間関係が安定している。(思いやり・規範意識・幸福感が高い)

- ・この安心感を土台とした、学びの意欲の更なる充実。

(2)自己肯定感と人間関係の良さ

- ・教師や仲間との信頼関係が概ね良好である。現時点では、心理的安全性の高い学級・学校が形成されていると感じている生徒が多い。

- 今後の改善や充実の方向➡今後の学校生活において、行事やペア・グループ活動を取り入れた更なる活動の充実。

(3)学習活動への主体的な関わり

- ・特別の教科「道徳科」において、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める活動が生きている。

- 今後の改善や充実の方向➡教科の学習へも主体的に参加する意欲がもてるような学習活動の工夫。

◎肯定的な回答の割合が特に低い項目(全国平均との比較)

・学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。

①ほぼ毎日(15.0) ②週に1,2回(18.6) ③月に1,2回(24.3)

①②③の合計(57.9)※全国(56.7)

④年に1,2回(5.0) ⑤ほとんど、または、全くない(35.7)※全国(32.5)

・学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

①3時間以上(2.1) ②2時間以上(15.0) ③1時間以上(26.4)

①②③の合計(43.5)※全国(61.6)

④30分以上(23.6) ⑤30分より少ない(20.7) ⑥全くしない(11.4)※全国(6.9)

・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。

①4時間以上(3.6) ②3～4時間(4.3) ③2～3時間(7.9)

①②③の合計(15.8)※全国(29.9)

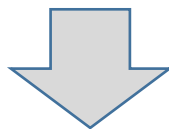
④1～2時間(27.9) ⑤1時間未満(22.9) ⑥全くしない(17.1)※全国(13.4)

・昼休みや放課後に、本(教科書・参考書・漫画・雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校の図書館(電子図書館を含む)にどれくらい行きますか。

①週に4回以上(0.0) ②週に1～3回(7.9) ③月に1～3回(16.4)

④年に数回(10.7) ⑤ほとんど行かない(20.0) ⑥全く行かない(45.0)※全国(48.3)

・新聞を読んでいますか。(0.7) ※全国(5.7)



肯定的な回答が低い項目から見える課題

(1)家庭学習時間の少なさ

・勉強時間が多い生徒の割合は、平日・休日いずれも全国平均を大きく下回っている。
また、「全くしない」の割合が全国と比べてもかなり高く、自主学習の習慣が十分に確立していないことが明らかと言える。

●今後の改善や充実の方向➡家庭学習に意欲をもって取り組むことができる方策を工夫し、学習習慣を付けるための日常的な取組の充実。(家庭学習計画・テスト対策・日常の授業の準備など)

(2)日常生活で出版物(本や新聞など)に触れる機会の確保

・スマートフォンが一般化している中で、紙や本物に触れる機会が少なくなっている。

●今後の改善や充実の方向➡各教科の授業でも積極的な活用の工夫を通して、家庭と一体となった取り組みの推進。